

## 地域・社会とのコミュニケーション

### 社会貢献活動の基本方針

荏原グループは、事業活動を通じて社会に貢献することを企業理念に定めていますが、事業以外にもさまざまなコミュニケーションを通じて地域・社会の発展に貢献しています。

これは、地域や社会と積極的にコミュニケーションを図り、地域の課題解決やよりよい社会づくりに関わっていくことが、企業の重要な役割のひとつだと考えているからです。

荏原グループではこの考えを更に推進するため、活動の軸となる社会貢献活動方針を制定しました。

#### 社会貢献活動方針

荏原は、事業フィールドである「水と空気と環境」に関わる分野で「技術支援」と「教育支援」を軸とした社会貢献活動に取り組む。

### 活動テーマ

荏原グループでは、社会貢献活動方針に従い、以下の3つのテーマで社会貢献活動を展開しています。活動にあたっては、支援する団体や地域の方々とのコミュニケーションを通じて、変化する課題やニーズを把握しながら、常に改善を重ねています。

#### ① 事業活動を活かす。

100年を超える事業活動で培った技術・ノウハウは荏原グループの強みです。この強みを積極的に活用し、荏原らしい社会貢献活動を推進していきます。

#### ② 人材を育てる。

科学技術・環境・伝統・スポーツなど、様々な活動を通じて次世代を担う人材の育成に貢献します。

#### ③ ニーズに応える。

地域や社会の課題を的確に把握し、ニーズにあった貢献活動を推進していきます。

### 2015年度の活動目標と成果

活動テーマ	活動目標	活動の成果
事業を活かした貢献	100年を超える事業活動で培った技術・ノウハウは荏原グループの強みです。この強みを積極的に活用し、荏原らしい社会貢献活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 島山清二記念荏原基金 セミナー開催国4か国、7講座、受講者数 409名</li> <li>● ポンプの寄付活動 1か所(カンボジア工科大学)給水ポンプユニット1台、ポンプカットモデル2台、流量計1台、その他付属品1式</li> <li>● 工場見学(藤沢事業所) 受入件数 220件 参加者 3,888名</li> </ul>
人材を育てる活動	科学技術・環境・伝統・スポーツなど様々な活動を通じて次世代を担う人材の育成に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少年少女チャレンジ創造コンテストへの特別協賛 参加チーム (予選) 660チーム (決勝) 60チーム</li> <li>● ミライリケジョ〜モノづくりカフェ〜の開催 参加者 中高生 73名 保護者 22名</li> <li>● 羽田ヴィッキーズによるバスケットボールクリニック支援 開催回数63回 参加者3,922名</li> </ul>
ニーズに応える活動	地域や社会の課題を的確に把握し、ステークホルダーのニーズにあった貢献活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TABLE FOR TWO 寄付給食数 38,646食</li> <li>● 復興支援マルシェ 出展団体 10団体</li> <li>● WWF活動支援 寄付金額 500万円</li> </ul>

### 2015年度の主な活動

#### ■ 島山清二記念荏原基金

「島山清二記念荏原基金」は、2015年より発展途上地域の大学の「研究・教育に使う最新のポンプが欲しいが予算がない」との声に応えるため、当社のポンプユニット及びポンプのカットモデルを寄贈する活動を開始しました。

[島山清二記念荏原基金詳細 >>>](#) [Web](#)

#### ■ 少年少女の創造性開発

当社は公益社団法人発明協会の主催する全日本少年少女チャレンジ創造コンテストに特別協賛しました。このコンテストを通じて、全国の少年少女にモノづくりの楽しさ、チームワークの大切さ、豊かな発想力と行動力を身につけてもらい、ひいては将来の科学技術を担う人材に成長して欲しいと思っています。

[イベントの詳細 >>>](#) [Web](#)



少年少女チャレンジ創造コンテスト表彰式

#### ■ リケジョ(理系女子)支援

講談社Rikejoと共同で女子中高生にモノづくりで活躍する女性を知ってもらイベント「ミライリケジョ〜モノづくりカフェ〜」を開催しました。「モノづくり=男子の現場」ではなく、女性が活躍できるフィールドであることをこれからも発信していき、モノづくりの現場に対するイメージ向上を図ります。

[イベントの詳細 >>>](#) [Web](#)

### 2016年度の活動方針(目標)

1. 事業を活かした貢献をさらに推進し、新たな社会貢献活動の企画立案・実施を進める。
2. 人材を育てる活動を新たな分野でも取り組む。
3. 従業員が気軽に参加できる社会貢献活動をさらに推進する。

#### ■ TABLE FOR TWO

2015年度は新たに本社及び3つの工場の従業員食堂で「社会で社会貢献」活動を開始しました。「ヘルシーなランチ1食ごとに20円を開発途上国の子どもの給食1食分として寄附し、メタボに悩む先進国と、食料不足に苦しむ開発途上国の2つの課題を同時に解決する」という活動を導入しました。

[活動の詳細 >>>](#) [Web](#)



「社会で社会貢献」活動

#### ■ 東日本大震災復興支援マルシェ

東日本大震災の被災地の産業支援を目的に、復興庁の被災者支援コーディネート事業からの要請を受けて、東北三県の特産品・クラフト品を販売する「心の復興マルシェ・クラフトフェア」を開催しました。



マルシェの様子